

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2024年2月24日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市千種スポーツセンター 第1競技場

3 プログラム名

ホッケー

4 講師（敬称略）

一般社団法人愛知ホッケー協会 永井 東一（他5名）

5 活動内容

3回目の今回は、準備体操とランニングの後、長い距離のパスやシュートの練習を行いました。

その後、前回の技術練習を活かし、ホッケーの現役選手を監督に置いた4チームで予選リーグ、決勝トーナメントのゲームを行いました。各チーム、監督と相談しながら戦い方を決め、ゲームに臨みました。試合が進むにつれて、攻撃の選手、守備の選手、ゴールキーパーとチーム内の役割を分担し、白熱したゲームが行われました。必死にボールを奪いに行き、ゴールする姿が見られました。各試合、一進一退の攻防で得点を奪うと、喜びの歓声が上がっていました。



ゲームの様子①



ゲームの様子②



作戦タイムの様子



集合写真

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時
2024年2月3日（土） 18時25分から20時30分まで
- 2 会場
名古屋市千種スポーツセンター 第1競技場
- 3 プログラム名
ホッケー
- 4 講師（敬称略）
一般社団法人愛知ホッケー協会 永井 東一（他5名）
- 5 活動内容

今回のテーマは、「ディフェンス」でした。道具を使わない1対1から、スティックを持って、スティックでボールを運びながら、と段階を踏んで1対1のディフェンス練習を行いました。ホッケーでは、スティックを使ってボールを操作するため、オフenseの正面ではなく、スティック側に位置を取ることが学びました。その後、ドリブルからのプッシュパス練習を行いました。片面しか使えないスティックに苦戦しながらも、ドリブルの時のボールの位置や腰のひねりを工夫しながら、パスが出せるようになりました。最後に4対4のsmall gameを行いました。練習やゲームの合間にも、指導者の方々から丁寧な個別指導を受け、アカデミー生の動きが徐々によくなり、ゲームでは、シュートを決めて歓声上がる場面もありました。



ディフェンス練習の様子



丁寧な個別指導もいただきました



ボールのスピードに必死についていきます



積極的にゴールを狙います

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2024年1月13日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市千種スポーツセンター 第1競技場

3 プログラム名

ホッケー

4 講師（敬称略）

一般社団法人 愛知ホッケー協会 永井 東一（他5名）

5 活動内容

全体説明、現役選手のデモンストレーションを見学した後、二人組でのパス練習（プッシュ、ヒット）から始まりました。最初は思うようにスティックにボールが当たらず、相手に強いボールでパスをすることができませんでした。膝をうまく使うことが大切であるとアドバイスを受け、時間が経つにつれて上手にパスをできるようになりました。

続いてオープンドリブルとインディアドリブルの練習が始まり、片面しか使えないスティックに苦戦しながらも、手首をうまく使いながらボールを運べるようになりました。

最後は二人組でランニングパスからのシュート。二人で運んだボールをうまくゴールに入れられると、思わず笑顔がこぼれていました。



現役選手のプレーを見学



二人組でのパス練習



講師の合図に合わせてドリブルする様子



ランニングパスからのシュート